

製品名: ACVRL1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83961**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000 |
| 分子量 | 56 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | ACVRL1 |
| 別名 | SKR3; Activin receptor-like kinase 1; ALK-1; TGF-B superfamily receptor type I; TSR-I; ACVRL1; ACVRLK1; ALK1;;SKR3 |
| 遺伝子 ID | |
| SwissProt ID | P37023 |
| 免疫原 | ヒト SKR3 由来の合成ペプチド |

背景

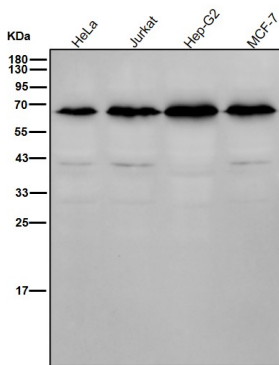
リガンド結合により、2つのII型膜貫通型セリン / スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン / スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成する。II型受容体はI型受容体をリン酸化して活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD転写調節因子に結合して活性化する。TGF- β の受容体であり、アクチビンにも結合する可能性がある。

研究分野

-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

